



花心

花房小学校だより
第4号

令和3年5月20日
文責 花房小 百田 止水

校訓
学校教育目標
めざす子ども像

きたえよう心と体 たかめよう技と学力^{ちから}
ふるさとを誇りに思い、夢に向かって自ら知を磨き体を鍛える花房っ子の育成
かしこく 自ら意欲的に学ぶ子ども
なかよく 友を大切にし、助け合う子ども
こんきよく 最後まで頑張り抜く子ども
たくましく 運動の楽しさを実感し、進んで体を動かす子ども

子どもたちが読書を通してはぐくむもの

花房小学校には、多くの物語や伝記、絵本などを備えたすてきな図書室があります。また、社会や理科、生活、総合的な学習の時間等で活用する様々な図鑑や年鑑等の資料や本もあります。さらに、図書室には、司書の先生がおられ、本の紹介コーナーを設けたり、子どもたちの読書や学習にニーズに合わせて様々な本を紹介したりしています。

花房小学校は、これから豊かな読書活動を推進していきます。では、読書を通じて、子どもたちは、どのような力を身に付けていくのでしょうか？

一つ目は、語彙力が高まることだと思います。子どもたちは、読書を通じて新しい言葉や表現を学んでいきます。もちろん漢字も読書する中で身につけていきます。このことで、語彙力が高まり多くの言葉や表現を獲得していきます。

二つ目は、読解力（読み取る力）が高まることだと思います。歴史作家司馬遼太郎さんは、生前「映像を見るよりも文章を読んで想像することの方が何倍もすてきなことです」とおっしゃっていました。この読解力を高めることは、変化の激しい時代を生きる子どもたちにとって、未来を生き抜くとても大切な力であると思います。

三つ目は、感性を豊かにすることだと思います。学校の図書室には、選りすぐりの物語や名作が多数あります。以前、東京大学の佐藤学教授とお話をしているときに、次のような話をされました。「読書活動は日本の子どもたちの道徳性や感性をはぐくむことに、一番貢献しています。」子どもたちは、物語を読むことで、主人公や登場人物の気持ちに共感したり感動したりすることで、自分の感性を高めることにつながっていくと思います。

先生たちのおすすめの本

5月20日(木)の朝の活動で読書集会がありました。この中で、先生たちのおすすめの本として、4名の先生方が自分のおすすめの本を子どもたちに紹介しました。

先生たちが紹介したおすすめの本は次の通りです。

いちばんしあわせなおくりもの	宮野聡子
白いぼうし	あまんきみこ
よだかの星	宮沢賢治
ルパン対ホームズ	モールス・ルグラン

これから、花房小学校の子どもたちには、多くの本に出会い親しんでほしいと思います。

図夢図夢クラブの読み聞かせ

5月17日(月)に図夢図夢クラブのみなさんによる今年度初めての読み聞かせが行われました。子どもたちは、クラスごとに身を乗り出し、目を輝かせながらそれぞれのお話に聞き入っていました。

今年度も月に2~3回ぐらいの読み聞かせを行ってまいります。このことを通して、子どもたちには、ますます読書に興味・関心を持ち、好きになってほしいと思います。

